



米国における 青少年の薬物使用

ベイラー医科大学（ヒューストン）

依存症医学准教授

風呂広子, MD, Ph.D.MA, MS, MSES, MRO, FASAM
hfuro1@gmail.com

本日お話しすること

1. 米国での薬物使用の概要

最近の傾向

よく使われている薬物

政府の対応と公衆衛生政策

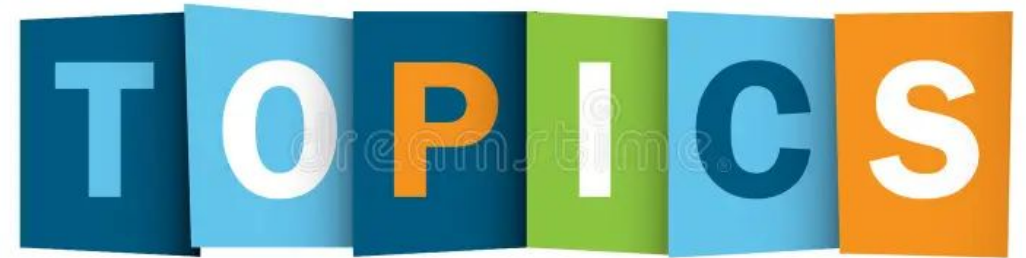
2. 米国における青少年の薬物使用

若者の薬物使用の概要

危険因子ー思春期の薬物使用の現状

予防ー親と保護者ができること

3. ケーススタディ - 実際の例



クイズ

True / False 問題(○か×で答えてください)

1. オピオイド(痛み止め)を中学3年までに処方されると、23歳までに乱用するリスクが高まる。
2. ベンゾジアゼピン(睡眠薬)とアルコールを大量に摂取している人が、突然やめても安全である。
3. マリファナは連邦法で合法である。
4. オピオイド依存症には効果的な薬物療法がある。
5. アルコール消費量は、日本はアメリカよりも多い。

1. 薬物とは？

身体的または精神的な機能に変化を及ぼすすべての物質
どんなに体に良いものでも取りすぎは毒になる

*「量が毒を作る (Sola dosis facit venenum: Only the dose makes the poison)」

この言葉は、パラケルスス (Paracelsus) (1493–1541) によって述べられたもので、彼はスイス出身の医師・錬金術師・哲学者であり、近代毒性学の父とされています。

彼の主張は、どんな物質であっても、その量によっては毒になり得るというものであり、逆に言えば、毒とされる物質でも、適切な量であれば害がない、あるいは薬になり得るという考え方です。



AI Generated Image

1. 薬物とは？

分類	例
医療用薬物(処方薬)	モルヒネ、抗うつ薬、抗生物質など
一般用医薬品(市販薬)	アセトアミノフェン、イブプロフェンなど
違法薬物(非合法)	ヘロイン、覚醒剤、コカインなど
合法的嗜好品	アルコール、ニコチン
伝統的な薬・健康補助食品	漢方薬、ハーブ、サプリメントなど



医療用薬物（処方薬）

- モルヒネ、抗うつ薬、抗生物質など、医師の処方箋が必要な薬
- 中毒性の高い薬物は5つの種類に分類されており、それぞれに特別な処方箋の規則がある
- 州のデータベースで処方の記録かわかる



AI Generated Image

米国における中毒性のある薬物の分類

スケジュール	概要	医療用途	乱用の可能性	例
Schedule I	医療用途がなく、乱用の可能性が非常に高い	✗ない	非常に高い	ヘロイン、LSD、MDMA、大麻（連邦法）
Schedule II	医療用途があるが、乱用の可能性が非常に高い	✓ある	非常に高い	モルヒネ、メタンフェタミン、オキシコドン、フェンタニル
Schedule III	医療用途があり、乱用の可能性は中程度	✓ある	中程度	コデイン含有鎮痛薬、ブプレノルフィン、アナボリックステロイド
Schedule IV	医療用途があり、乱用の可能性は比較的低い	✓ある	低い	ジアゼパム（Valium）、アルプラゾラム（Xanax）、ゾルピデム（Ambien）
Schedule V	医療用途があり、乱用の可能性が最も低い	✓ある	非常に低い	咳止め薬（コデイン少量含有）、ロモチル（下痢止め）

テキサス州 PDMP: (Texas Prescription Drug Monitoring Program)

- ・ 規制薬物(スケジュールII～Vに分類される処方薬)の処方・調剤履歴を管理する州の電子データベース

使用目的

- ・ 薬物の乱用・依存の予防
- ・ 「ドクターショッピング(多重処方のために複数の医師を受診する行為)」の抑止
- ・ 処方の透明性と責任性の向上
- ・ 過量服用や薬物関連死の防止

The screenshot shows the Texas PMP dashboard at the URL <https://texas.pmpaware.net>. The interface includes a dark blue header with a 'Menu' icon and the user name 'hiroko furo'. Below the header, the breadcrumb 'Home > Dashboard' is visible. On the right, there is a logo for the 'TEXAS PRESCRIPTION MONITORING PROGRAM' with the website 'txpmp.org' and support contact '(844) 489-4767'. The main content area is titled 'My Dashboard' and features a 'Patient Alerts' section. This section shows 'PATIENT ALERTS' with a help icon and a message 'No patient alerts received.' with a link to 'View All Patient Alerts'. To the right of the alerts is a 'My Favorites' section with a link for 'RxSearch - Patient Request'.

一般用医薬品（市販薬）

- アセトアミノフェン（カロナール Tylenol）、イブプロフェンなど薬局で医師の処方箋なしで買うことができる
- 中毒性は認められていないが、取りすぎると死を招くこともある
- アセトアミノフェンが米国で薬物過剰摂取が最も多い薬

違法薬物（非合法）



- ヘロイン、覚醒剤、コカイン、大麻など法律により規制されている薬物



大麻



覚せい剤
(メタンフェタミン)

ヘロイン



コカイン
(LSD, MDMA)



合成薬物



大麻は連邦法では非合法
では、州法ではどうなっているか？

娯楽目的の大麻が合法

娯楽目的の大麻が非合法

THC含有量が低い医療用大麻のみ合法

合法的なTHCを扱う制度はない



ヘンプ

- THC が0.3%未満の大麻草
- 主にカンナビス・サティバ
- CBDオイル
- ヘンプは「ハイ」にならない
- ヘンプは連邦レベルで合法
- 尿検査では陽性になるので注意



マリファナ(大麻)

- THCが15－20%
- THCオイル
- マリファナは「ハイ」になる
- 州によって合法性が異なる

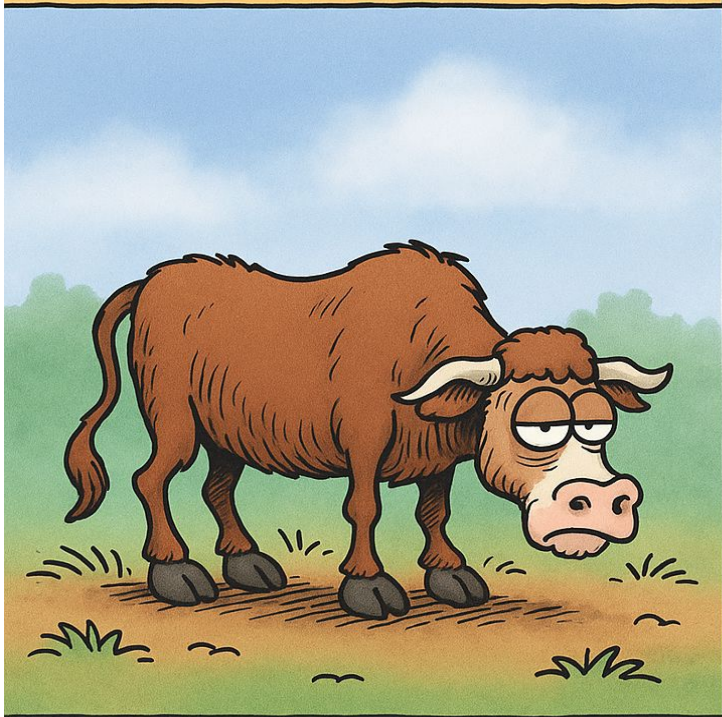
*THC(テトラヒドロカンナビノール):
大麻に含まれる化学物質

大麻

たばこのように吸われるだけでなく、グミやクッキーなどの食品に混ぜられていることもある

薬物を大きく2つの種類に分類すると

鎮静薬



ヘロイン
フェンタニル
ベンゾジアゼピン系睡眠薬

興奮剤



メタンフェタミン
コカイン

©Jon R. Herman

依存とは？

- 精神的依存

- ほとんどの薬物は渴(強い欲求)を引き起こすものの、身体的依存を伴わないことが多い。摂取の中止は比較的容易な場合が多い。

- 身体的依存：

- 薬物を中止すると、身体的な禁断症状が現れる。
 - 薬物療法が有効。
 - 例
 - オピオイド (モルヒネなどの痛み止め)
 - アルコール
 - ベンゾジアゼピン (睡眠薬)
 - ニコチン
 - カフェイン

危険な身体的依存： 治療には医師の助けが必要

- オピオイド：過剰摂取は死に至る
- アルコール：突然の摂取中止は死に至ることもある
- ベンゾジアゼピン：突然の摂取中止は死に至ることもある

オピオイド依存症

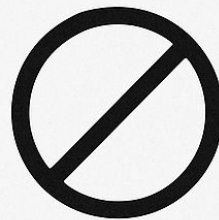
- オピオイドは痛み止めとして処方される
- **オピオイド依存症 (Opioid Use Disorder: OUD)** は、医療用または違法なオピオイド (例: モルヒネ、オキシコドン、ヘロインなど) の使用により、**身体的・精神的な依存が形成される慢性疾患**
- **健康・社会的リスク**
 - **呼吸抑制による過量致死**
 - 感染症 (HIV、肝炎)
 - 精神疾患の併存 (うつ、PTSDなど)
 - 犯罪・失業・家庭崩壊

致死量

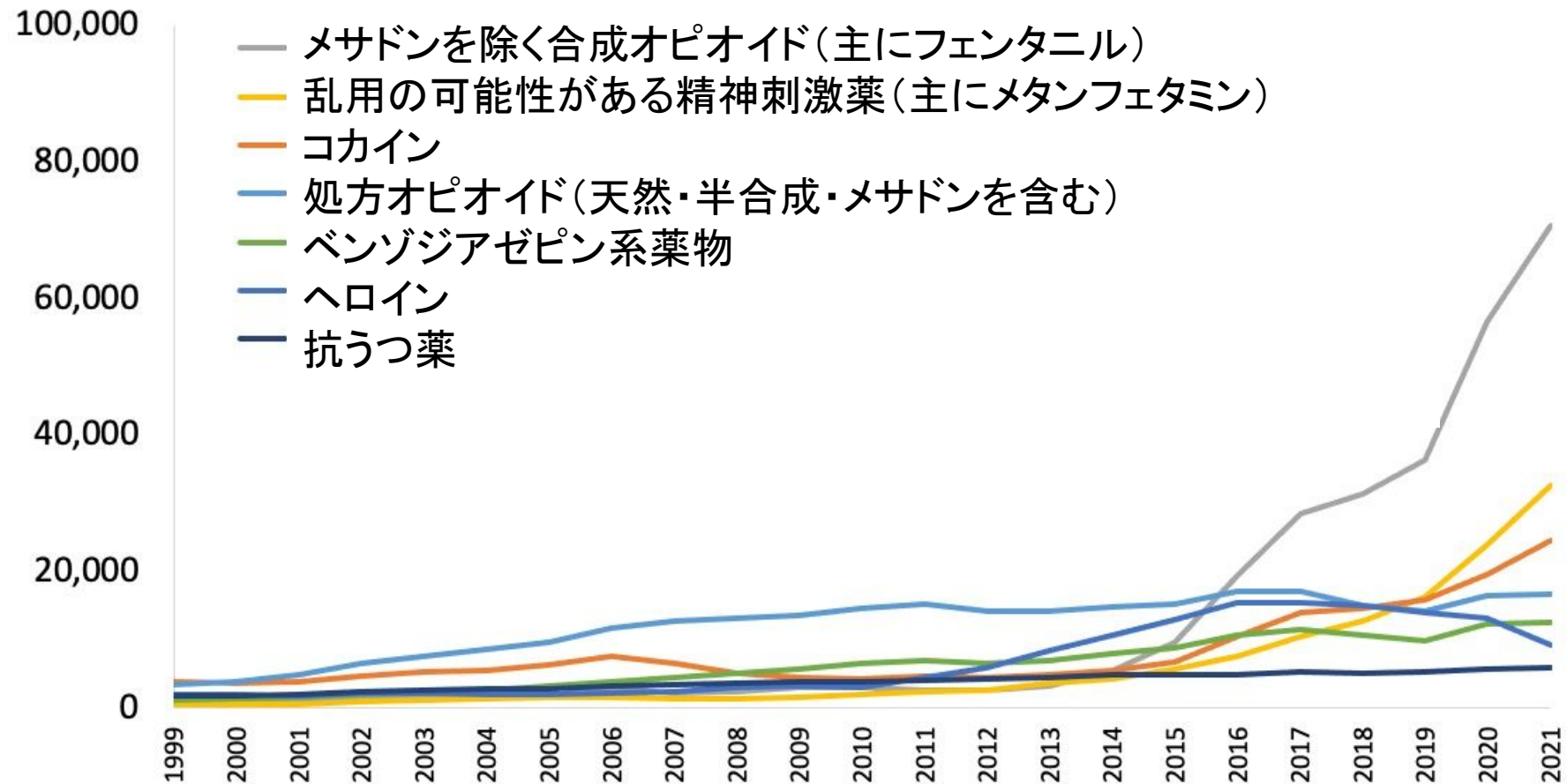
- Heroin > Fentanyl > Carfentanil

Heroin > Fentanyl

Carfentanil



全米の薬物過剰摂取による死亡者数 (フェンタニルによる死亡者急増)



*Includes deaths with underlying causes of unintentional drug poisoning (X40–X44), suicide drug poisoning (X60–X64), homicide drug poisoning (X85), or drug poisoning of undetermined intent (Y10–Y14), as coded in the International Classification of Diseases, 10th Revision.
Source: Centers for Disease Control and Prevention, National Center for Health Statistics. Multiple Cause of Death 1999–2021 on CDC WONDER Online Database, released 1/2023.

米国における薬物過剰摂取による死亡者 & 交通事故および銃器関連の死亡者



>



- 2021年、交通事故および銃器関連の死亡者数の合計を上回った
(アメリカ疾病予防管理センター[CDC]による報告)

オピオイド依存症の主な治療薬

薬剤名	日本語名	作用機序	特徴
メサドン (Methadone)	メサドン	長時間作用型オピオイド 作動薬	離脱症状を抑える。米国 ではOTP (Opioid Treatment Program) で管 理。日本では未承認。
ブプレノルフィン (Buprenorphine)	サブロクソン(+ナロキソン 含有製剤もあり)	部分アゴニスト(μ 受容体)	離脱・渴望を軽減。ナロキ ソン混合製剤は注射によ る乱用防止に有効。
ナルトレキソン (Naltrexone)	ナルトレキソン	オピオイド受容体拮抗薬	渴望・再使用を抑制。完全 に断薬後でないと使用で きない。月1回注射剤 (Vivitrol) もあり。

幻覚剤 LSD

- LSD (リゼルグ酸ジエチルアミド: Lysergic acid diethylamide) は、極めて強力な幻覚剤
- 視覚的幻覚、時間感覚の歪み, 共感覚 (synesthesia)

幻覚剤 シロサイビン

- シロサイビン(Psilocybin)
- 幻覚性キノコ(いわゆる「マジックマッシュルーム」)に自然に含まれるサイケデリック化合物

幻覚剤 MDMA/エクスタシー

- MDMA/エクスタシー
- 興奮剤と幻覚剤の両方として作用し、活力を高める効果、時間や知覚の歪み、および触覚体験の快感の増強を引き起こす
- パーティードラッグ

吸入剤 (Inhalants)

- 揮発性の化学物質の蒸気を吸引することで精神作用を得ようとする薬物群主に家庭用品や工業製品に含まれる化学成分
- 脳や神経へのダメージが大きい
- 特に10代の青少年に多く見られる乱用

吸入剤 (Inhalants)

分類	例	使用例(元々の用途)
溶剤系	シンナー、接着剤、ペンキ除去剤	工業用、模型用接着剤など
エアゾール系	スプレーのり、ヘアスプレー、消臭剤	家庭用スプレー
ガス系	ライター用ガス(ブタン)、プロパン	燃料・噴射剤
ニトライト系	アミルニトリット(ポッパーズ)	医療用(狭心症など)、性的興奮目的で乱用されることも

合法的嗜好品

- アルコール
- ニコチン
- カフェイン

米国における過剰飲酒の定義

男性：1日に4杯または1週間に14杯まで

女性：1日に3杯または1週間に7杯まで

アルコール依存症の治療

- 政府機関に認可された3種類の処方薬
- カウンセリング（心理療法）
- アルコホーリクス・アノニマス（匿名のアルコール依存症者の支援グループ）
- 家庭医または精神科医による診療

アルコール依存症は薬で治せる

薬剤名	日本語名	作用機序	主な効果	主な副作用	備考
Naltrexone	ナルトレキソン	オピオイド受容体拮抗薬	飲酒による快感（報酬感）を減少させ、渴望を抑える	吐き気、頭痛、肝機能障害	肝疾患患者には慎重に使用
Acamprosate	アカンプロサート	グルタミン酸系・GABA系のバランス調整	長期断酒維持を支援。再飲酒防止	下痢、不眠、腹痛	腎機能に影響。重度腎障害患者には厳禁
Disulfiram	ジスルフィラム	アルコール代謝阻害（アセトアルデヒド蓄積）	飲酒時に不快な反応（顔面紅潮、吐き気など）を起こすことで、行動的抑制を促す	頭痛、肝障害、精神症状（まれ）	飲酒前に服用すると危険な反応を起こすため慎重な指導が必要

ナルトレキソンでアルコール依存から回復した人々の実話を綴った本

"I know you're skeptical. But this is the real deal—a genuine cure for alcoholism, based on cutting-edge science and decades of research. It could save your life or the life of someone you love."

—Stephen Cox, MD, President, National Anxiety Foundation

REVISED EDITION

THE CURE — FOR — ALCOHOLISM

THE MEDICALLY PROVEN
WAY TO ELIMINATE
ALCOHOL ADDICTION

ROY ESKAPA, PhD

INTRODUCTION BY CLAUDIA CHRISTIAN

FOREWORD BY DAVID SINCLAIR, PhD

ニコチン依存



*この写真と本文は無関係です

OpenAI. AI-generated image of two people smoking cigarettes. ChatGPT with DALL·E. Published May 18, 2025.. <https://chat.openai.com>

たばこ依存症の治療法

- ニコチン代替療法（パッチ、ガム、トローチ）
- 処方薬（例：ブプロピオン、バレニクリン）
- カウンセリング
- デジタル禁煙プログラムやモバイルアプリ

ニコチン依存症の治療薬

薬剤名	日本語名	分類	主な作用	備考
ニコチンパッチ	ニコチネルTTS、ニコチンパッチなど	ニコチン置換療法 (NRT)	血中ニコチン濃度を安定させ、離脱症状と渴望を軽減	一般用医薬品 (OTC) としても入手可能。
ニコチンガム	ニコレットなど	NRT	噛むことでニコチンが吸収され、口寂しさや渴望を軽減	ガムの使用方法にコツが必要 (ゆっくり噛む)。
バレニクリン (販売再開)	チャンピックス®	部分作動薬 (ニコチン受容体)	ニコチンの快感を遮断し、喫煙による満足感を抑える	2021年から自主回収中だったが、2024年に販売再開予定 (再製造)
ブプロピオン (※未承認)	ザイバン® (海外名)	抗うつ薬	ドパミン・ノルアドレナリン再取り込み阻害により、禁煙を支援	日本では未承認 (米国ではFDA承認)

アメリカにおいて最も乱用されている薬物

薬物	使用人数(百万人)	人口への%	コメント
アルコール	138.5	50.0%	最も乱用される薬物
大麻(マリファナ)	61.8	22.3%	最も使用されている違法薬物
たばこ、電子タバコ	26.6	9.4%	18～25歳の若年成人に多い
処方箋乱用	8.6	3.1%	処方オピオイドの乱用
コカイン	5.0	1.8%	粉末状およびクラック(結晶)型の両方
覚せい剤	2.6	0.9%	アンフェタミンとメタンフェタミン
幻覚剤	8.8	3.1%	LSD、シロシビン、MDMAなど
吸入剤	2.6	0.9%	青少年における使用が多い
ヘロイン	0.66	0.2%	使用率は減少しているが、有効性の高さと過剰摂取の可能性は高い

日本において最も乱用されている薬物

薬物名	依存性	使用率(生涯)	法的地位(日本)	主な対象層・特徴
アルコール	中～高(身体・精神)	約90%以上(経験あり) 約3～4%がAUD	合法(20歳以上)	成人全般。文化的容認度が高く、隠れ依存が多い。
ニコチン(たばこ)	高(身体)	約20%(現在喫煙) 生涯では50%以上	合法(20歳以上)	中高年男性中心。加熱式たばこの普及が急増。
大麻(マリファナ)	中程度(精神依存)	約2.0～2.5%(増加傾向)	違法(大麻取締法)	若年層中心に増加中。SNSや音楽文化で肯定的印象も。
覚醒剤(メタンフェタミン)	非常に高い(精神依存)	約0.2～0.3%	違法(覚醒剤取締法)	中高年・再犯者多。幻覚妄想・暴力・高再犯率。

薬物使用率と薬物関連死亡率： アメリカと他の先進国の比較

国別	薬物使用率 (人口%)	薬物関連死亡率 (100,000の割合)
米国	2.7%	21.3
カナダ	1.5%	10.0
イギリス	1.2%	6.5
ドイツ	1.0%	3.5
フランス	0.9%	2.8
日本	0.2%	0.4

薬物使用率の比較

米国 vs. 日本

薬物	米国	日本
アルコール消費量	15歳以上1人あたり、年間で純アルコール約8.7リットルを消費	15歳以上1人あたり、年間で純アルコール約7.2リットルを消費
成人の喫煙率	15歳以上の成人の約12.5%	15歳以上の成人の約16.8%
成人の電子タバコ(VAPE)使用率	15歳以上の成人の約6.5%	15歳以上の成人の約1.9%

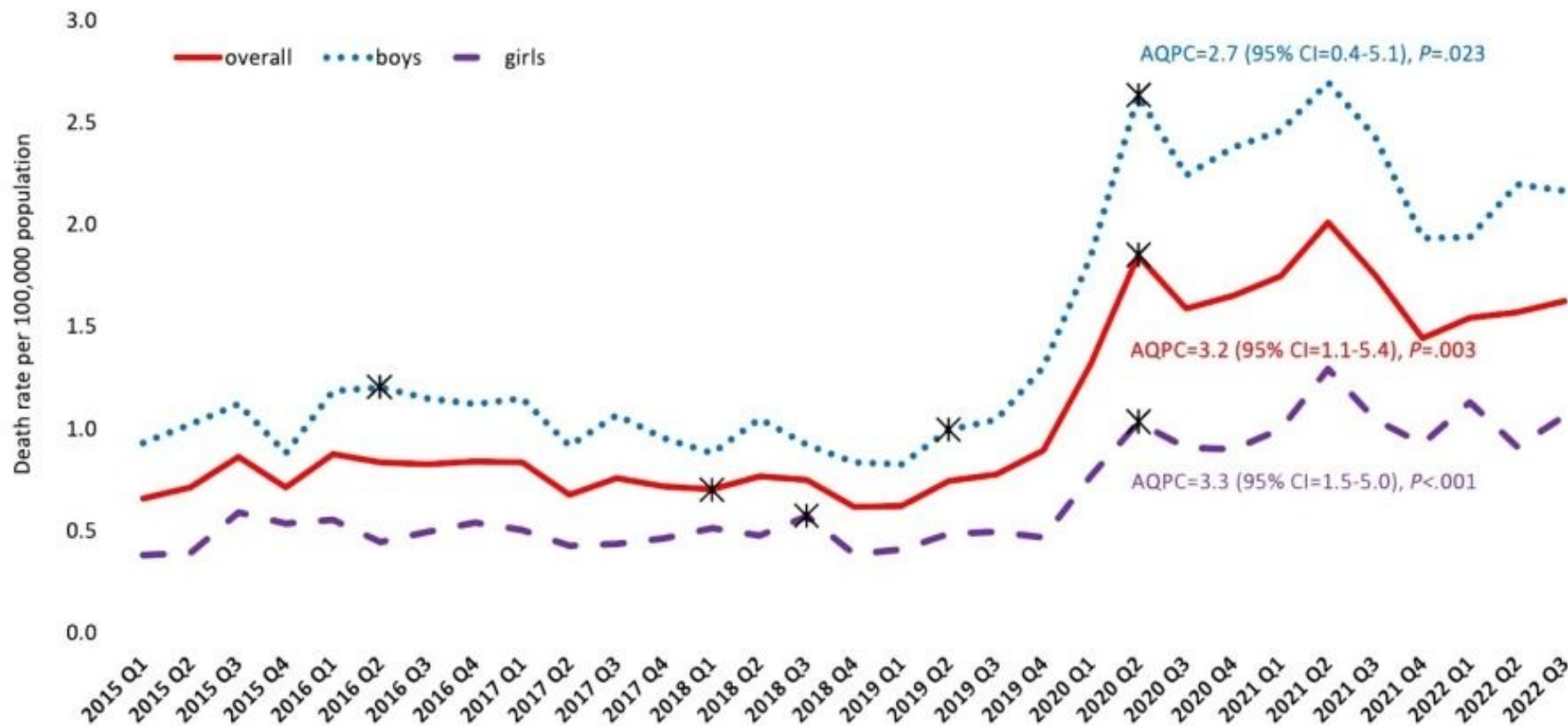
Centers for Disease Control and Prevention. National Center for Health Statistics. Summary Health Statistics: National Health Interview Survey, 2023. Updated March 2024. Accessed May 16, 2025. <https://www.cdc.gov/nchs/products/databriefs/db524.htm>
World Health Organization. Global Health Observatory Data Repository: Japan. Accessed May 16, 2025. <https://www.who.int/data/gho/data/countries/country-details/GHO/japan>
Cornelius ME, Wang TW, Jamal A, Loretan CG, Neff LJ. Tobacco product use among adults — United States, 2021. MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 2022;71(44):1443–1449. doi:10.15585/mmwr.mm7144a2
Global State of Tobacco Harm Reduction. Country Profile: Japan. Knowledge-Action-Change. Published 2021. Accessed May 16, 2025. <https://gsthr.org/countries/profile/jpn/>
Tobacco Atlas. Japan Country Profile. American Cancer Society; Vital Strategies. Accessed May 16, 2025. <https://tobaccoatlas.org/country/japan/>

2. アメリカにおける青少年の薬物使用



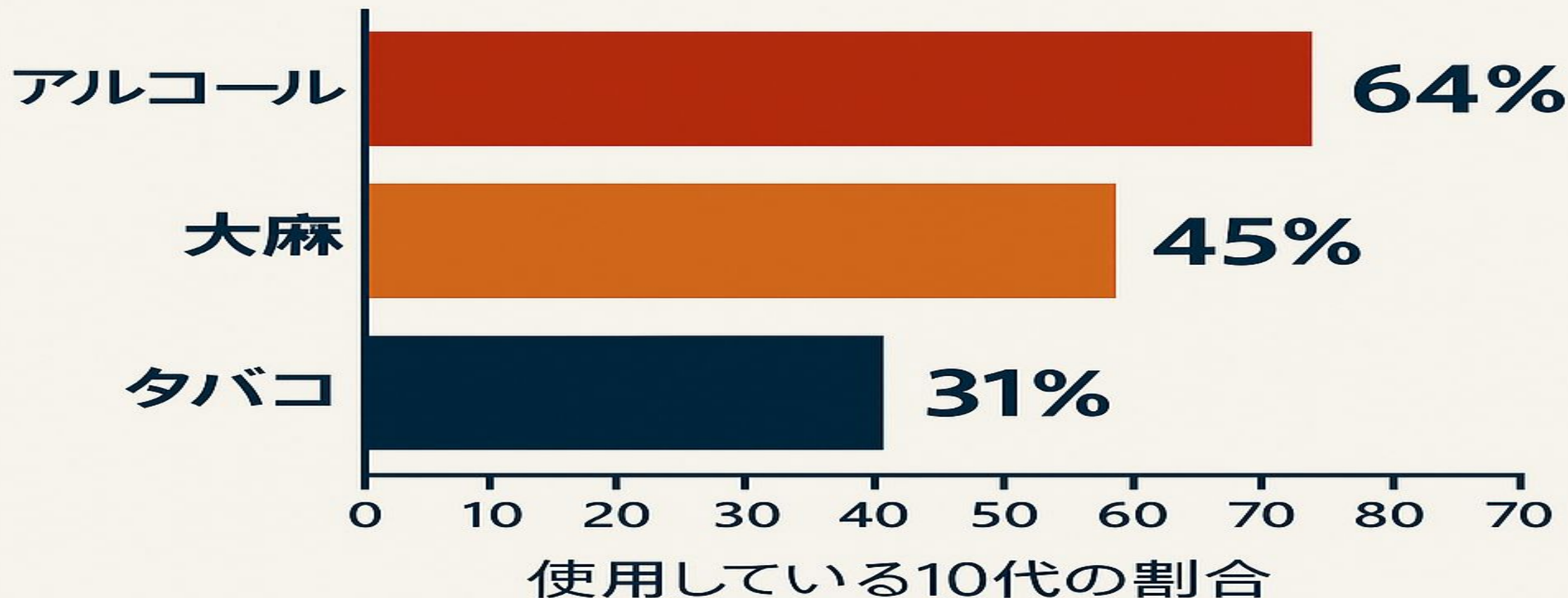
OpenAI, AI-generated with ChatGPT and DALL·E (May 2025)

米国の15～19歳の若者の薬物過剰摂取による死亡率



Data sources: National Vital Statistics System's multiple-cause-of-death 2019-2021 final and 2022-2023 provisional data and the U.S. census monthly data. *: Joinpoints identified indicate significant changes in nonlinear trends using Bayesian Information Criterion. AQPC=average quarter percentage change during 2019 Q1-2023 Q1.

10代に最も使用されている薬物



オピオイド薬への早期使用とその後の乱用リスク

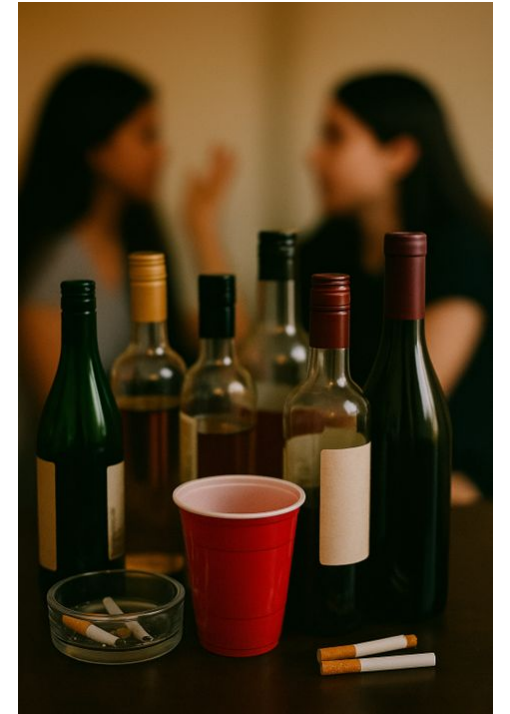
- 12年生(中学三年生)までにオピオイドの処方を受けた青少年は、23歳までにオピオイドを乱用するリスクが33%高い
- 特に、薬物経験がほとんどない、あるいはまったくない青少年ではそのリスクがさらに高く、早期使用がこのグループにおいて特に影響力を持つ



*この写真と本文は無関係です

青少年はどうして薬物を使い始めるのか？

- 仲間からの影響や社会的な規範
- メンタルヘルスの問題（うつ病、不安障害など）
- トラウマや虐待体験
- 家庭環境や親の薬物使用
- 学業によるプレッシャーや学校への関心の低さ
- 薬物へのアクセスのしやすさや地域環境



青少年ができる依存症予防

予防策	説明
信頼できる大人との対話	親や先生、カウンセラーなどに悩みを相談することで、孤立感を防ぐ
健康的な習慣の維持	十分な睡眠、運動、バランスのとれた食事などが、ストレスへの抵抗力を高める
断る力を身につける	誘われてもきちんと「NO」と言えるスキル(アサーティブネス)を練習する
リスクについての知識を深める	薬物やアルコールの影響について、正しい情報を学ぶことが予防につながる
前向きな活動への参加	クラブ活動、ボランティア、スポーツなどに参加することで、健全な仲間とのつながりが生まれる
SNSやネットの使い方を見直す	有害な情報やプレッシャーから離れることも重要

Hawkins JD, Catalano RF, Miller JY. Risk and protective factors for alcohol and other drug problems in adolescence and early adulthood: Implications for substance abuse prevention. Psychol Bull. 1992;112(1):64–105.

doi:10.1037/0033-2909.112.1.64National Institute on Drug Abuse. Principles of Adolescent Substance Use Disorder Treatment: A Research-Based Guide. NIH Publication No. 14-7953; 2014.

<https://nida.nih.gov/publications/principles-adolescent-substance-use-disorder-treatment-research-based-guide>Botvin GJ, Griffin KW. Life skills training: Empirical findings and future directions. J Prim Prev. 2004;25(2):211–232.

doi:10.1023/B:JOPP.0000042391.58573.5b

保護者が子どもの依存症の兆候として 注意すべきサインとは？

カテゴリー	注意すべき兆候
行動面	友人や交友関係の急激な変化、秘密主義、反抗的な態度、無断欠席、嘘をつく、盗みを働くなど
学業面	成績の低下、学校や課外活動への関心の喪失
感情面	気分の浮き沈み、いら立ち、家族からの引きこもり、または原因不明の不安やうつ状態
身体面	目の充血、急激な体重の変化、不衛生な状態、口臭や衣服の異常なにおい
社交面	家族との会話の減少、スマートフォンの使用が秘密主義。

家族ができる青少年の薬物使用予防策

対策	具体例
オープンな対話を持つ	批判せずに話を聴き、薬物やアルコールについて正直に話すことで、信頼関係を築く。
明確なルールと期待を伝える	「薬物は使わない」「門限を守る」など、ルールを明確に設定し、一貫性をもって伝える。
子どもの交友関係を把握する	友人の名前や家族、どこで過ごしているかを知り、問題が起きそうな場면을予防する。
日常的に関心を示す	学校の出来事、趣味、気分など日々の変化に注意を向け、孤立を防ぐ。
模範を示す	家族自身が責任ある行動(節度ある飲酒、ストレス管理)をすることで、よい手本となる。
ストレスへの対処法を教える	運動や呼吸法、話すことなど、健康的なストレス管理方法を家族で実践する。

依存症の原理

どうして人は何かに依存してしまうのか？



米国における依存症治療の支援リソース

リソース名	提供機関	主なサービス内容	対象地域	連絡先・リンク
SAMHSA (Substance Abuse and Mental Health Services Administration)	米国保健福祉省 (HHS)	治療施設検索、24時間ホットライン、教育資源	全米	 1-800-662-HELP (4357)  https://www.samhsa.gov
FindTreatment.gov	HHS / SAMHSA	ZIPコードや保険タイプに応じた治療施設検索	全米	 https://findtreatment.gov
988 Suicide & Crisis Lifeline	SAMHSA / Vibrant Emotional Health	自殺防止・危機介入、薬物使用に関する相談	全米	 988  https://988lifeline.org
National Institute on Drug Abuse (NIDA)	NIH	研究に基づいた資料、依存症教育、リサーチ支援	全米	 https://nida.nih.gov
Partnership to End Addiction	民間NPO	家族向けのサポート、相談窓口、教育資料	全米	 https://drugfree.org
AA/NA/Al-Anon	地域グループ	自助ミーティング(アルコール・薬物・家族向け)	各地域	 https://www.aa.org  https://na.org  https://al-anon.org

•**SAMHSA**. Find treatment. Accessed June 23, 2025. <https://www.samhsa.gov/find-treatment>
•**SAMHSA**. National Helpline. Accessed June 23, 2025. <https://www.samhsa.gov/find-help/national-helpline>
•**SAMHSA**. 988 Suicide & Crisis Lifeline. Accessed June 23, 2025. <https://988lifeline.org>
•**NIDA**. About NIDA. Accessed June 23, 2025. <https://nida.nih.gov/about-nida>

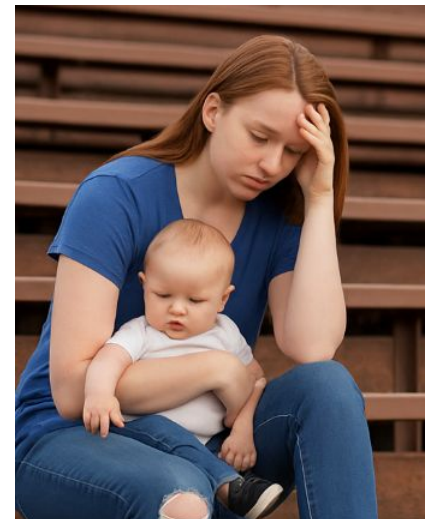
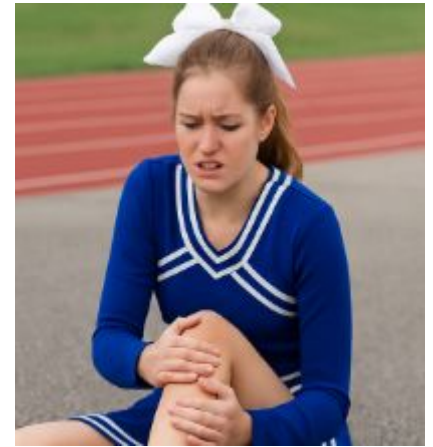
•**Partnership to End Addiction**. About us. Accessed June 23, 2025. <https://drugfree.org/about-us>
•**Alcoholics Anonymous**. About AA. Accessed June 23, 2025. <https://aa.org>
•**Narcotics Anonymous**. About NA. Accessed June 23, 2025. <https://na.org>
•**Al-Anon**. Newcomers. Accessed June 23, 2025. <https://al-anon.org/newcomers/>



3. ケーススタディ - 実際の例

事例1: 処方箋の痛み止めからヘロイン使用へ

- **患者:**
16歳のチアリーダー。学校の練習中に左膝を負傷。
- **病歴:**
病院で治療を受け、痛みに対してオピオイドが処方された。
痛みが続いたため、処方期間を超えて使用を継続。
薬が中止される前に身体的依存が生じた。
友人からオピオイドを入手するようになり、やがて売人と接触。
ヘロインを使い始め、その後フェンタニルも使用。
後にメサドン治療プログラムに受診。
現在は社会保障で生活するシングルマザーとして子育てに苦闘している。



* この写真と本文は無関係です

事例2:ティーンエイジャーの 「ファーム・パーティー」

- **状況:** 救急外来、医療中毒科コンサル中
- 患者:** 数名のティーンエイジャー
- 出来事:**
 - ・親の処方薬を盗み、すべての薬をボウルに混ぜた
 - ・順番に無作為に薬を服用
- 結果:** 中毒対応が必要に



事例3:ボーイフレンドによる強要で始まったヘロイン

- **患者**:27歳女性
- **受診理由**:オピオイド依存の治療を希望し、メタドン治療クリニックを受診
- **経過**:
 - 十代のころヘロインの使用を拒否
 - ボーイフレンドに拘束され、無理やり注射された
 - その使用をきっかけにヘロイン依存に陥った



クイズ

True / False 問題(○か×で教えてください)

- 1.オピオイド(痛み止め)を中学3年までに処方されると、23歳までに乱用するリスクが高まる。
- 2.ベンゾジアゼピンとアルコールを大量に摂取している人が、突然やめても安全である。
3. マリファナは連邦法で合法である。
4. オピオイド依存症には効果的な薬物療法がある。
- 5.アルコール消費量は、日本はアメリカよりも多い。

クイズ

True / False 問題(○か×で教えてください)

- 1.オピオイド(痛み止め)を中学3年までに処方されると、23歳までに乱用するリスクが高まる。 → ○
- 2.ベンゾジアゼピンとアルコールを大量に摂取している人が、突然やめても安全である。 → ×(誤り)解説:ベンゾジアゼピン(例:ジアゼパム、ロラゼパム)を急に中止すると、けいれん発作、不安、不眠、離脱せん妄などの重篤な離脱症状を引き起こす可能性があります。中止は医師の指導のもとで徐々に減量する必要があります。また、慢性的な大量飲酒をしている人が急に断酒すると、振戦せん妄(delirium tremens)やけいれん、重篤な自律神経症状を起こすことがあります、生命を脅かすこともあります。医療的監視下での断酒治療が必要です。
- 3.マリファナは連邦法で合法である。 → ×(誤り)解説:一部の州では合法ですが、連邦法(federal law)では依然として違法(Schedule I drug)とされています。したがって、州法と連邦法の間に法的な不一致があります。
- 4.オピオイド依存症には効果的な薬物療法がある。 → ○(正しい)解説:メサドン(Methadone)、ブプレノルフィン(Buprenorphine)、ナルトレキソン(Naltrexone)などのFDA承認薬が存在し、依存症の管理・回復に有効です。
- 5.アルコール消費量は、日本はアメリカよりも多い。 → ×(誤り)解説:統計によると、1人あたりのアルコール消費量はアメリカの方が高い傾向にあります(OECD Health Data などによる)。ただし、日本でも飲酒文化は根強く、中高年男性における多量飲酒は社会問題となっています。

質疑応答

hfuro1@gmail.co

m

